

運用緩和①の基準により申請を行う場合

中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定による認定申請書

令和 年 月 日

徳島市長殿

申請者 住所
名称
代表者名

印

私は令和2年新型コロナウイルス感染症の発生に起因して、下記のとおり、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定に基づき認定されるようお願いします。

1 事業開始年月日 _____ 記 _____ 年 月 日

運用緩和の基準により申請
を行う理由を記載

例:業歴3ヶ月以上1年1ヶ月未満のため、運用
緩和の基準により申請します。

2 (1) 売上高等

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{B-A}{B} \times 100$$

減少率 _____ % (実績)

A: 災害等の発生における最近1か月間の売上高等 _____ 円

比較対象期間を記載

_____ 期間に対応する前年1か月間の売上高等 _____ 円

例:(R2年2~4月の平均)

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{(B+D)-(A+C)}{B+D} \times 100$$

減少率 _____ % (実績見込み)

C: Aの期間後2か月間の見込み売上高等 _____ 円

※(記載不要)

D: Cの期間に対応する前年2か月間の売上高等 _____ 円

※(記載不要)

3 売上高等が減少し、又は減少すると見込まれる理由

運用緩和①の基準では必要ないため、
C,Dの売上高の記載は不要です。

(留意事項)

①本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

②認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

経政発第 _____ 号

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日から令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日まで

認定者名 徳島市長 内藤 佐和子

運用緩和②の基準により申請を行う場合

中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定による認定申請書

令和 年 月 日

徳島市長殿

申請者 住所
名称
代表者名

印

私は令和2年新型コロナウイルス感染症の発生に起因して、下記のとおり、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

1 事業開始年月日

年 月 日

運用緩和の基準により申請
を行う理由を記載

例：前年以降の店舗増加によって、単純な売上
高等の前年比較が困難なため、運用緩和の基
準により申請します。

2 (1) 売上高等

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{B - A}{B} \times 100$$

減少率 % (実績)

A：災害等の発生における最近1か月間の売上高等

円

比較対象期間を記載

期間に対応する前年1か月間の売上高等

円

例：(R元年12月)

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{(B + D) - (A + C)}{B + D} \times 100$$

減少率 % (実績見込み)

C：Aの期間後2か月間の見込み売上高等

円

比較対象期間を記載

期間に対応する前年2か月間の売上高等

円

例：(R元年12月×2)

3 売上高等が減少し、又は減少すると見込まれる理由

(留意事項)

①本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

②認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

経政発第 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

認定者名 徳島市長 内藤 佐和子

運用緩和③の基準により申請を行う場合

中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定による認定申請書

令和 年 月 日

徳島市長殿

申請者 住所
名称
代表者名

印

私は令和2年新型コロナウイルス感染症の発生に起因して、下記のとおり、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定に基づき認定されるようお願いします。

1 事業開始年月日 _____ 記 _____ 年 月 日

運用緩和の基準により申請
を行う理由を記載

例:業歴3ヶ月以上1年1ヶ月未満のため、運用
緩和の基準により申請します。

2 (1) 売上高等

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{E \text{ 円} - A}{E \text{ 円}} \times 100$$
 減少率 _____ % (実績)

A: 災害等の発生における最近1か月間の売上高等 _____ 円

E 円: Aの期間に対応する前年1か月間の売上高等 _____ 円

例:(R元年10~12月の平均)

比較対象期間を記載

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{(B+D) - (A+C)}{B+D} \times 100$$
 減少率 _____ % (実績見込み)

C: Aの期間後2か月間の見込み売上高等 _____ 円

比較対象期間を記載

D: _____ の期間に対応する前年2か月間の売上高等 _____ 円

例:(R元年11~12月)

3 売上高等が減少し、又は減少すると見込まれる理由

(留意事項)

- ①本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ②認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

経政発第 _____ 号

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日から令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日まで

認定者名 徳島市長 内藤 佐和子

運用緩和①の基準により申請を行う場合

売上高確認表（中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定による認定申請書の添付書類）

1 最近3か月間の売上高等について

(ア)災害等の発生における最近1か月の売上高等	令和2年 4月		
	①(A)		
(イ)上記期間後2か月の見込み売上高等	年 月	年 月	②+③(C)
	②	③	
A+C			

2 前年同期3か月間の売上高等について

(ア)の期間に対応する前年1か月の売上高等	令和2年 2月		
	④(B)		
(イ)の期間に対応する前年2か月の売上高等	令和2年 3月	令和2年 4月	⑤+⑥(D)
	⑤	⑥	
B+D			

本表の記載内容については事実と相違ありません。

令和 年 月 日

申請者

住 所 _____

氏 名 _____

⑩

(名称及び代表者の氏名)

運用緩和②の基準により申請を行う場合

売上高確認表（中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定による認定申請書の添付書類）

1 最近3か月間の売上高等について

(ア)災害等の発生における最近1か月の売上高等	令和2年 4月		
	①(A)		
(イ)上記期間後2か月の見込み売上高等	令和2年 5月	令和2年 6月	②+③(C)
	②	③	

A+C	
-----	--

2 前年同期3か月間の売上高等について

(ア)の期間に対応する前年1か月の売上高等	令和元年 12月		
	④(B)		
(イ)の期間に対応する前年2か月の売上高等	令和元年 12月	令和元年 12月	⑤+⑥(D)
	⑤	⑥	

B+D	
-----	--

本表の記載内容については事実と相違ありません。

令和 年 月 日

申請者

住 所

氏 名

印

(名称及び代表者の氏名)

運用緩和③の基準により申請を行う場合

売上高確認表（中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定による認定申請書の添付書類）

1 最近3か月間の売上高等について

(ア)災害等の発生における最近1か月の売上高等	令和2年 4月		
	①(A)		
(イ)上記期間後2か月の見込み売上高等	令和2年 5月	令和2年 6月	②+③(C)
	②	③	

A+C	
-----	--

2 前年同期3か月間の売上高等について

(ア)の期間に対応する前年1か月の売上高等	令和元年10月		
	④(B)		
(イ)の期間に対応する前年2か月の売上高等	令和元年11月	令和元年12月	⑤+⑥(D)
	⑤	⑥	

B+D	
-----	--

令和元年10~12月平均(E) (売上高記載)

本表の記載内容については事実と相違ありません。

令和 年 月 日

申請者

住 所 _____

氏 名 _____ (印)

(名称及び代表者の氏名)